

ファーマパッケージング事業の成長戦略

2024年5月23日

ファーマパッケージング事業部長

岩佐 昌暢

目次

1 損益推移（2022年度～2023年度）

2 市場環境および成長戦略

3 商品ポートフォリオの拡充

4 安定供給体制の整備

5 2030年に向けた収益目標

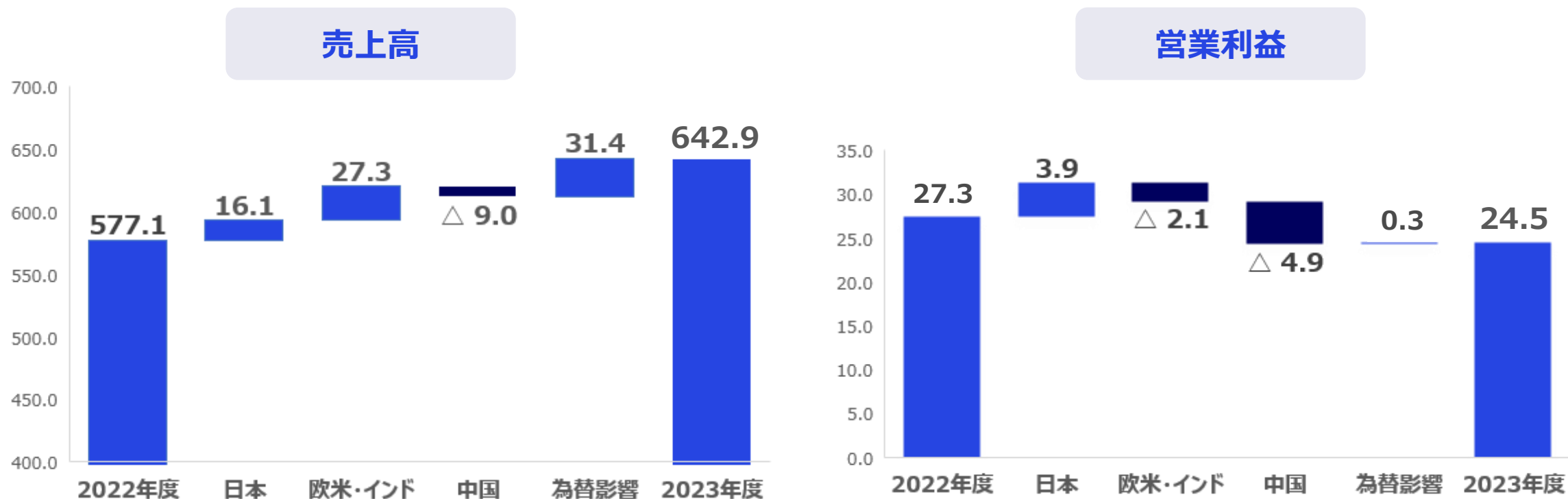
損益の推移状況

[単位：億円]

勘定科目	2022年度	2023年度	増減額	対前年比率
【売上高】	577.1	642.9	65.8	111.4%
（うち外部顧客への売上高）	517.5	580.3	62.8	112.1%
【売上原価】	470.7	529.2	58.5	112.4%
【売上総利益】	106.4	113.7	7.3	106.8%
（売上総利益率）	18.4%	17.7%		
【販売費及び一般管理費】	79.0	89.2	10.1	112.8%
【営業利益】	27.3	24.5	△ 2.8	89.7%
（営業利益率）	4.7%	3.8%		

損益推移（売上高・営業利益の地域別増減状況）

[単位：億円]



通貨	2022年実績	2023年実績
USD(米ドル)	132.08	141.20
EUR(ユーロ)	138.52	153.17
CNY(人民元)	19.50	19.87
INR(インドルピー)	1.68	1.72
RUB(ロシアルーブル)	2.02	1.67
HRK(カザフアカナ)	18.39	EURに移行

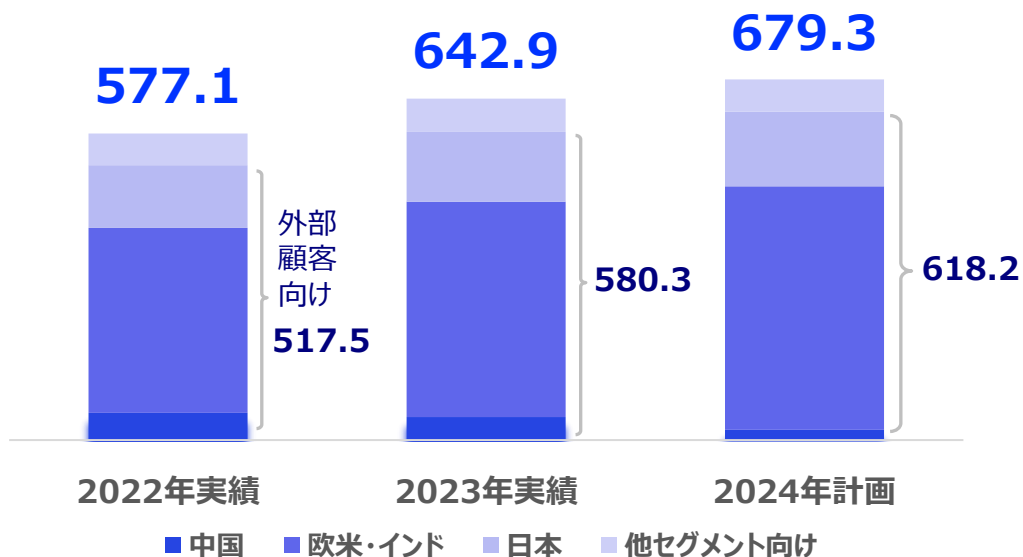
地域別の損益推移

[単位：億円]

売上高

2022-2023年度の増収要因

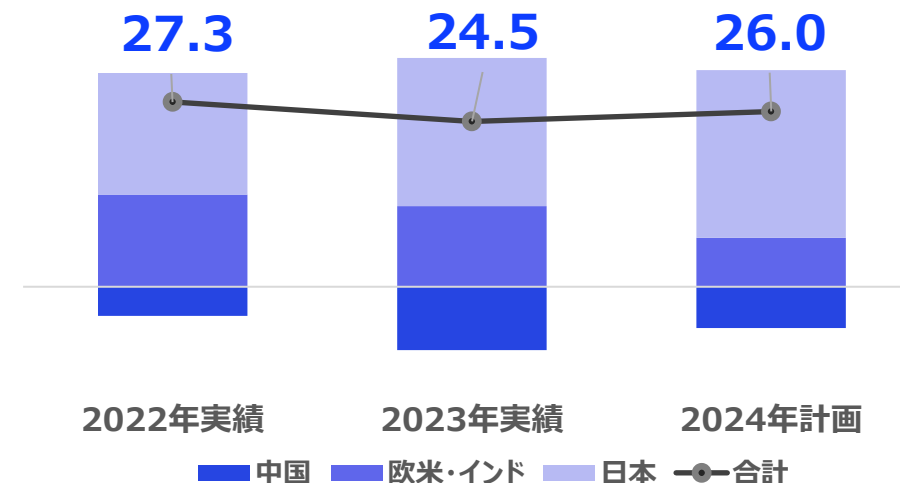
- ◆ (欧米)高付加価値品の構成比率増
- ◆ (中国)合併ビジネスの段階的解消
- ◆ (全般)円安シフトによる売上高の伸長



営業利益

2022-2023年度の減益要因

- ◆ (欧)新規設備立ち上げに伴う初期費用の計上
- ◆ (中国)ワクチン需要の大幅減少
- ◆ (日本)注射針・輸液関連製品の出荷増 (増益)



通貨	2022年実績	2023年実績	2024年計画
USD(米ドル)	132.08	141.20	142.00
EUR(ユーロ)	138.52	153.17	150.00
CNY(人民元)	19.50	19.87	19.50
INR(インドルピー)	1.68	1.72	1.72
RUB(ロシアルーブル)	2.02	1.67	1.46
HRK(クロアチアクナ)	18.39	EURに移行	EURに移行

市場環境

医療先進国

- 注射剤から経口・徐効製剤への移行
- 新薬用ガラス容器の規格要求向上

医療新興国

- ジェネリック薬品向け容器の需要急拡大
- グローバル基準容器への移行

全世界共通

- 感染症対策を織り込んだヘルスケア政策の促進
- 予防・在宅医療の推進（ユーザー・フレンドリー需要の増）
- 製剤メーカーのReady to Use品への移行
- インフレ・トレンドの継続・医療費予算の抑制
- 在庫調整局面と供給能力超過による価格引下圧力
- サステナビリティ社会への移行・サプライチェーンの再構築

成長戦略

- 地域ごとのステークホルダーのニーズに応じた製品開発・販売
 - … **Key Word**
「商品競争力の向上」
「市場カバー率の拡大」
- 適正な価格による顧客需要に応じた柔軟な製品供給
 - … **Key Word**
「安定供給体制の整備」
「生産性の向上」

成長戦略の概要

商品競争力の向上

- 顧客ニーズの迅速な商品化
- グローバル市場向け開発体制の強化
- 既存商品の高品質化・高付加価値化
- スペシャリティ領域における新規医療用デバイス機器の開発

安定供給体制の整備

- 生産能力の段階的増強
- BCP対応の整備
- 柔軟なサプライチェーン体制の構築
- 人的資源の安定的な確保・活用

市場カバー率の拡大

- 新規市場の開拓・成長市場への拡販
- プレミアム製品のシェア向上
- 薬効領域に応じた最適容器の提案
- ワンストップソリューションの展開
- 各社におけるクロスセルの強化

生産性の向上

- 省人化推進と機械能力の最大活用
- 製造拠点間の生産ミックスの合理化
- 商品ポートフォリオの最適化
- グローバルスケールでのサプライチェーンの強化

商品ポートフォリオの拡充（開発品および新規上市品）

～幅広い顧客に多様なソリューションを提供するためのポートフォリオを順次拡大～

① Ready To Useの促進



蒸気滅菌済
D2F™ シリンジ (BOS)

滅菌済D2F™
バイアル



② 医薬品の品質向上

高機能バイアル



シングルユースバッグ



滅菌済D2F™ シリンジ
(トレーサビリティ対応)



③ 安全性・有用性の向上



経鼻デバイス
ExaDose™

安全機構付オートインジェクター
(PiccoJect™)



👉 開発品および新規上市品は、顧客および提供価値に応じて、①製剤メーカーの省工程化、②医薬品の品質向上、③ユーザーの安全性や有用性の追求といった3分野に区分される

商品ポートフォリオの拡充（シングルユースバッグ及び無菌コネクタ）

～国のワクチン補助事業に採択済、日本国内のシェア拡大にむけ鋭意拡販中～

■ シングルユースバッグUstem™

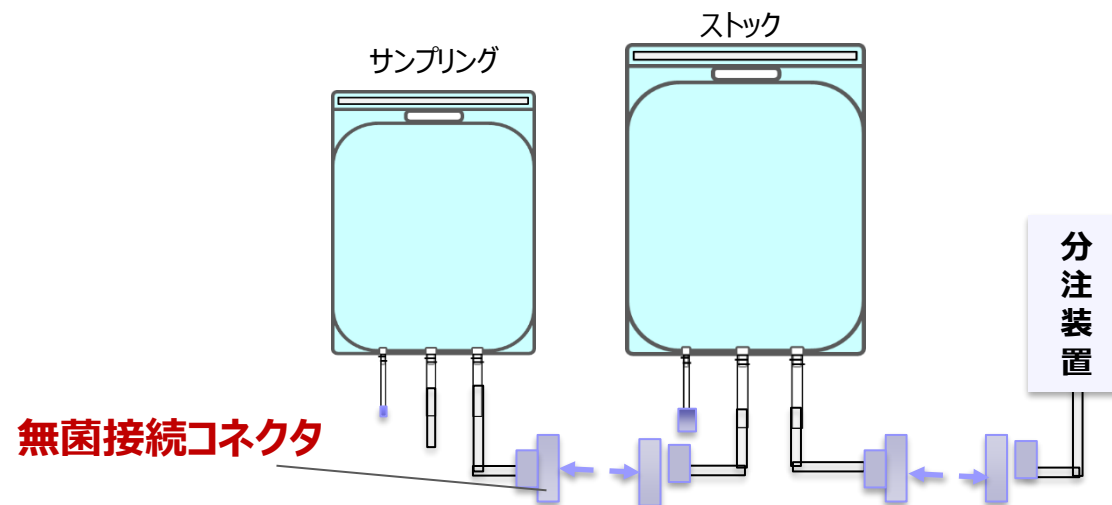
細胞培養や原薬の搬送・貯蔵用に使用



[シングルユースバッグ例]

■ 無菌接続コネクタ

シングルユースバッグの付属部品。バッグ-バッグ、バッグ-装置間を無菌的に接続するためのデバイス



- 👉 海外品が日本市場を寡占する中、パンデミック時を含めた安定供給体制を構築
- 👉 医療機器メーカーとして培った技術を活用し、バッグに付着・混在する異物問題を大幅に改善
- 👉 無菌コネクタは他社との差別化を図るため、接続時に凹凸がない「ジェンダレス型」を提供（組付不良の防止）

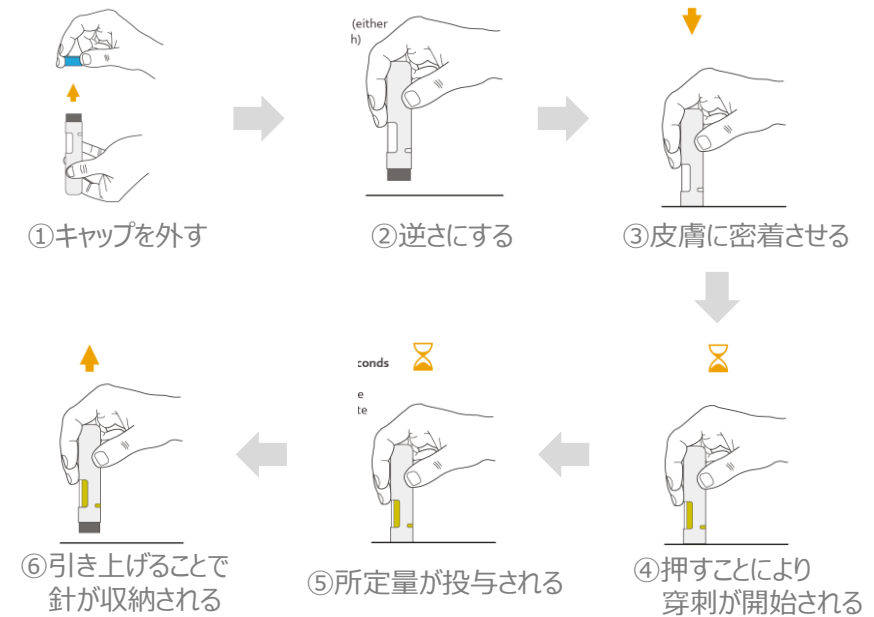
商品ポートフォリオの拡充（PiccoJect™ の導入）

～Haselmeier社製「PiccoJect™」の日本国内における独占協業契約締結～

■ 品種：1 mLと2.25 mLの2種類



■ 2ステップの単回使用オートインジェクター



- ☞ 薬剤投与を簡便かつ安全に行うための単回使用デバイス
- ☞ 在宅医療の促進や医療費低減効果により、皮下注射用オートインジェクターの需要は増加
- ☞ 本デバイスの導入により、通常の注射用バイアル製剤から、プレフィルドシリンジ製剤、オートインジェクターに至る容器及びデバイスの品揃えを充実に

安定供給体制の整備（カートリッジの増産体制整備）

～グローバル市場の伸長を見据え、カートリッジの地産地消体制の整備を加速～



[オートン工場（フランス）]



[安陽工場（中国）]



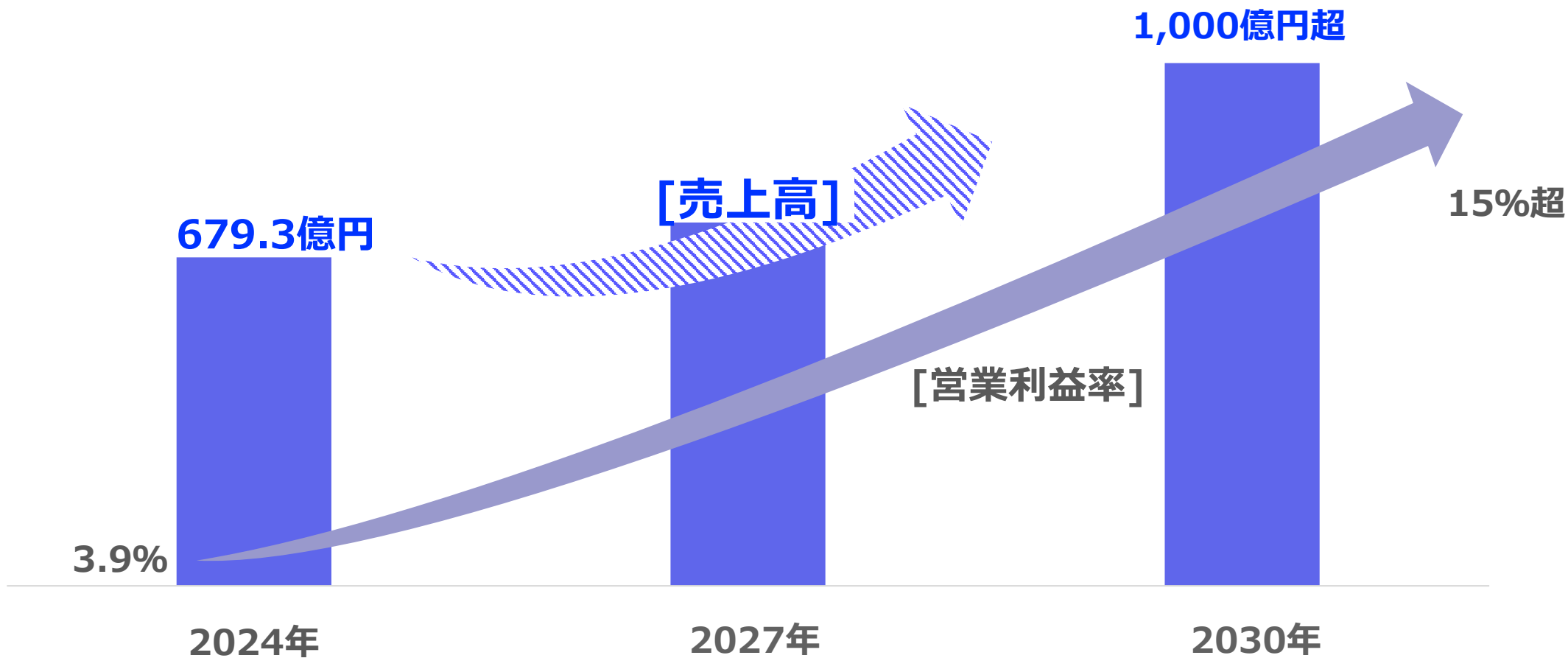
[プネ工場（インド）]

- 👉 インスリン・GLP-1に加え、カートリッジを使用した歯科麻酔薬の需要が全世界的に急増
- 👉 フランス（オートン工場）の増産体制整備に加え、中国・インドの製造所において成形ラインの導入を準備中
- 👉 人口大国である中国・インドにおける現地生産体制を確立することで本格的な販促を開始



2030年に向けた収益目標

～ 8カ国の経営資源を統合し最適化することで生産性・収益性を大幅に改善～



ファーマパッケージング事業部は、
医療・医薬の分野で培った技術とノウハウを基に、
医薬用総合容器メーカーとして、
真に必要とされる**先進的商品を供給**することで事業拡大を行い、
世界中の人々の健康に貢献して参ります。